

小林慧智著「哲学禅論考—生成 AI は知能を拡大し、哲学禅は叡智を開く—」2026年4月6日刊を読む

1. 伊豆ユネスコクラブ代表で、哲学禅創始者、小林慧智（けいち）先生は、
 - ①「哲学禅考菴集（上）（下）」2025年12月6日発売に続き、
 - ②「哲学禅論考」を2026年4月6日に発売なさいました（Amazonで販売）。是非お読みいただきたくご案内いたします。
2. フランスでは、高校3年生全員が、週4～6時間、「哲学教育」を受け、「大学入学資格試験（バカロレア）」は、全員に、完全記述式の「哲学」の試験が課されます。高校での「哲学教育」が、大学の質の担保として、重要な役割を果たしているようです。
◎日本の教育で決定的に欠けているのは「哲学教育」と考えます。
3. 私立大学624校の53%が定員割れ、定員割れした私立大学の講義内容の一例として、「四則計算から始める。少し背伸びして、微分などの理解」「（英語の）文型の基本とbe動詞の整理」など、「義務教育で学ぶ内容の授業が行われる大学もある」。財務省は、2040年度までに、私大の4割、250校削減案を数値目標として公表。
◎これからの高等教育をどう設計するのか、そのうえで、2040年からの学習指導要領改訂で、高校教育をどう抜本的見直したらよいか、急務です。
4. 今後は、高校教育の質的向上が期待されます。また、世界の政治状況、経済状況、AIをはじめ科学技術の高度化のスピードの激変は、「深く物事を自律的に考え、行動する力」なしでは、切り抜けることのできないほど、複雑化、高度化しています。その中心にある「自己」とは何か、「人間とは何か」を根底から問い直す時期に、全人類が迫られていると考えます。
5. そのような時期に、小林さんが、「哲学禅」を「創始者」としてスタート、3冊のご著書を、問題提起の書として出版されたことは、実にありがたいことと考えます。
6. まずは、中学校、高校、大学、大学院などで、「先生」として教えるお立場にある皆様が、さらには、企業、団体、地域、さまざまなグループで「リーダー」のお立場にある皆様が、この3冊のご著書を「哲学の教科書」としてご活用。「学んだことを、自分のことばでいえる（表現・説明できる、用いることができる）」ことを、目指しましょう。
◎元気な中学生、高校生、大学生、社会人にも、是非、おすすめください。
◎本書は、「音読」をおすすめします。

よろしく願いいたします。お体お大切に。

2026年5月5日（こどもの日）18時28分